

歌敷山中学校同窓会会報

第29号 (令和4年度)





目 次

		頁
・〈松岡享子さんの贈り物〉	同窓会会長 山口 雅登 ……	(1)
・今学校では	学 校 長 藤原 裕之 ……	(4)
・ペールに包まれた歌敷山中学校	教 頭 橋田 優子 ……	(5)
・母校部活動活躍状況 ……………		(6)
・歌中歌壇 ……………		(9)
・同窓生だより ……………		(10)
・紙上作品展 ……………		(13)
・同窓生近況報告 ……………		(18)
・母校・同窓会のあゆみ(年表) ……………		(24)
・ホームページの公開 ……………		(28)
・会計報告 ……………		(30)
・同窓会規約 ……………		(30)
・役員・評議員一覧 ……………		(32)
・各委員会からのお知らせ ……………		(34)
・トライやる・ウィークについて ……………		(34)



〈松岡享子さんの贈り物〉

同窓会会長 山口 雅 登

前号の同窓会報で第一回卒業生の松岡享子の訃報をお伝えしましたが、松岡さんについてはもつと言葉を費やしたい思いがあふれます。私とその適任者とはとうてい言えませんが、後進として教えを乞う立場から一文をしたためたいと思います。

上皇后美智子様が米寿をお迎えになった時のお言葉の中で「今年一月に亡くなった児童文学者で友人の松岡享子さんとは、亡くなる少し前に電話で心深い会話を交わした」と伝えられていました。殿下は昭和九年十月のお生まれで、松岡さんは昭和十年三月です。お二人は同学年です。またご著書の『橋をかける』子供時代の読書の思い出（文春文庫）を読めば、お二人の接点が「子どもと本」であることは明瞭です。ご本と同じタイトルの国際児童図書評議会（IBBY）での講演の最後はこう結ばれています。

「どうかこれからも、これまでと同じく、本が子供の大切な友となり、助けとなることを信じ、子供達と本とを結ぶIBBYの大切なお仕事を続け下さい。

子供達が、自分の中に、しっかりとした根を持つために

子供達が、喜びと想像の強い翼を持つために

子供達が、痛みを伴う愛を知るために
そして、子供達が人生の複雑さに耐え、それぞれに与えられた人生を受け入れて生き、やがて一人一人、私共全てのふるさとであるこの地球で、平和の道具となっていくために。」

〔平和の道具〕とはアシジの聖フランシスコの祈りのことばからの引用)

松岡さんの Librarian としての生涯も同じ志で貫かれていました。松岡さんがどのようにして Librarian と出会われたのか、中学時代の思い出にもふれながらたどってみましょう。松岡さんはいつも歌中時代を「遊びに遊んだ」楽しい思い出として語られていました。

「わたしの世代が、世代としてひとつにくくって見た場合、どこか無邪気で一所懸命なところがあるとすれば、それは、わたしたちの子どもの時代、特に中学時代に培われた性質という気がします。わたしたちは、戦後、新制中学ができたときの第一期生でした。それまでになかった学

校がいきなりできたのですから、校舎もなければ、机も椅子もない、というところから、わたしたちの中学はスタートしたのです。校舎は、とりあえず間借りをして、窓にガラスのはいっていない教室で、砂でザラザラの床にじかに座って、ひざの上にノートを拡げる、という有様でした。先生も足りなかったでしょう。

おそらく結核か何かで、徴兵を免れたのではないかと思われる青白い青年先生がいました。この先生は、国語の先生でしたが、教科書はそっちのけで、ジャンバルジャンの物語を語ってくれました。学校は山の上であり、校庭のまわりの柵をこえると、もうそこは山つつじの群生する自然の庭でした。ジャンバルジャン先生は、ときには、次の授業の鐘が鳴るまでに帰ってくればいいから、どこへでも好きなところへ行つて、何か見たらそれを五七五に書いて持つてこい、と行って放り出してくれました。わたしは「松の木や つたの衣をまといけり」という一句をものにして三重丸をもらいましたが、足が不自由で、クラスのなかでは目立たない存在であったI君は「れんげ摘み うっかりはまる肥たんご」なる傑作をものにして、五重丸を獲得し、一躍クラス全員の注目の的になりました！また、戦争が終つてからも、カーキ色の軍服にゲートルを巻いて通つていらした先生もありました。社会科の先生でしたが、この先生は、鐘が鳴っても教室にいらつしやらないことがありました。ことに冬なんか、わたしたちが迎えに行くと、職員室でたつたひ

とつしかない火鉢のふちに立って、股火鉢をしていらつしやる。わたしたちが「先生、〇年〇組授業です」というと、「うん、よし」という感じで、ゆっくりお出まじになる。そして授業はといえば、社会というより当時のわたしたちにはチンプンカンプンの人生訓みたいなものを話しておられたのです。わたしはノートもとらずただ聞いているだけでしたが、真面目な人はきちんとノートをとっている。のぞいてみると「とことんアホウになれる」なんて書いてあったりして、そんな風でした。

この先生については、忘れられない出来事があります。あるとき男の子たちが体育館の屋根の上で鬼ごっこをしていて、ひとりの子が落ちたんです。当時わたしたちが間借りしていた校舎は県立の商業学校のもので、戦前のコンクリートの立派な体育館がありました。屋根は陸屋根で、まわりに巾五十センチくらい的一段と高い部分があって、男の子たちはその上をぐるぐる走って鬼ごっこをしていたんです。つかまりそうになると内側、つまり屋根の上に飛び降りて逃れる、というルールで。ところがあるときT君という身のこなしのいかにも軽い、走るのが速い子が、間違つて外側へ落ちてしまった。幸いちょうど下に入出口の庇があったので、そこへ落ちてワンパウンドして地面に落ちたのです。わたしたち女の子は、窓からそれを見ていて、びつくり仰天。そのあとどうなるかを見るより先に、四階の職員室に駆け上がりました。その時

いらしたのが、あの「とことんアホウになれる」先生。ともかく女の子たちが息せき切つて叫びました。「先生、T君が屋上から落ちました！」すると先生、いささかもあわてず、たっぷり一呼吸あつてから「死んだか？」とひとこと。わたしたちが、そのことばに毒気を抜かれて、ハッと気がついて、もう一度窓から外を見ると、T君が親分格のH君に負ぶられてこっちへくるところでした。幸い大したこと

はなかったのです。そういう先生でした。今の中学生から見ると、なんて子どもっぽい、なんてのんきな毎日だったかと思いません。ロクスツポ勉強らしい勉強もしないで、生活は今よりうんと貧しくて、心ある大人から見れば、可愛そうなど見える子ども時代だったと思いますが、本人たちは、何かこれから世の中が良くなりそうな、先がいいことが待っているような、楽天的な気分でした。民主主義とか、男女同権などということが、それだけで人を元気づけるような、そんな時代でした。」

その後、松岡さんは星陵高校に進学しますが、二年の時、転居にもなつて神戸高校に転校を余儀なくされます。松岡さんは反抗的にふてくされて卒業まで過ぎたそうですが、この学校には数万冊の蔵書のある立派な図書室があり、「一日一冊」の日課でせつせと読書にいまそしました。愛読書は『チボー家のひとびと』でした。そして神戸女学院大学英文学科へと進まれます。大学の図書館で松

岡さんは英米の児童文学の基本文献や石井桃子が編集した岩波少年文庫を片っ端から読みます。その中にはアメリカ図書館協会や図書館学校の著者が書いた参考書も含まれていました。松岡さんの心にLibraryということばが刻み込まれたのはこの時代です。松岡さんの没後、母校の神戸女学院大学の図書館で「松岡享子展」が開催されました。松岡さんのたくさんの著作とともに、卒業論文に利用した原書や学生時代の記録が展示されていました。入学までもないころの若く美しい松岡さんや、卒業時ご両親にはさまれて微笑む松岡さんの写真が印象的でした。

大学卒業後、両親の住む東京で松岡さんはしばらく宙ぶらりんの状態でしたが、ある時「慶応義塾大学図書館学科」の学生募集の広告を見つけました。運命的な出会いでした。この日本で初めての図書館学科は、民主化政策の一環としてアメリカ図書館協会と国防総省の共同事業として計画されました。学校教育に偏重した日本の社会に、児童から成人までの生涯教育の拠点として公共図書館を充実・発展させ、それを支える図書館職員育成が急務でした。松岡さんはご両親に頼み込んで、再び図書館学科の学生として、編入学しました。Librarianとしての松岡さんの第一歩でした。

その後の松岡さんのLibrarianとしての歩みは、きわめて幸運であったのかも知れませんが、慶応大学卒業後、松岡さんはフルブライト奨学金を得て、ウエスタン・ミシガン大学大学院図書館学科に留学し、

子どもや青少年専門に必要な科目をすべて履修します。そして卒業と同時にボルティモア市立イーノック・ブラット図書館に就職します。学生ビザで就労できる唯一の道でした。松岡さんは二十七歳になつていました。アメリカの公共図書館で働く第一日目、当時の館長のことばは、松岡さんは伝えていきます。「わたしたちは、本はよいものであると信じる人々の集団に属しています。わたしたちの任務は、できるだけ多くの人をこの集団に招き入れることです。どうかしっかりと働いてください」と。

ブラット図書館で松岡さんが働いたのは丸一年です。延長の要請を断つて松岡さんが帰国したのは、少しでも早く学んだことを日本の図書館の現場で活かしたいと思つたからです。

帰国後、松岡さんは石井桃子や土屋滋子の家庭文庫の集りに参加し面識を拓けます。そして一年後、大阪市立中央図書館の小中学生室に就職が決まります。石井桃子はこの時の様子を主著のひとつである『子どもの図書館』に書いています。

「私たちに、大きな希望をいだかせてくれたのは、アメリカで、児童図書館員としての正規の訓練をうけ、アメリカでも優秀な活動をしていることで屈指の、ボルティモア市立公共図書館で働いてきた松岡享子さんが、一九六四年、ついに日本の公共図書館の児童室に仕事を見つけたことに成功したことです。このことは、日本の子どものための図書館活動も、と

うとう動きだしたという感を、私たちにあたえないではおきませんでした。」

しかしこれほどの期待を集めながら、松岡さんは二年余りで退職することになります。日本の図書館というお役所の壁は厚く、固く、職員はほぼ三年毎に異動することが決まっています。児童図書館員という専門の職業は認められていませんでした。私がこれまで Librarian ということばにこだわりの、図書館員ということばで松岡さんと呼ばなかつた理由はここにあります。日本の図書館員の現状と、松岡さんが生涯をかけた Librarian という仕事は本質的に全く異なるものなのです。私は図書館員をおとしめるつもりはありませんし、松岡さん自身はきつとそのような区別を非難されるような気もしますが、松岡さんが体現する Librarian のあるべき様はいつも意識されていなければならぬと考えます。

松岡さんにとって大きな初めての挫折でした。しかし挫折は、人生にとって一番大切な経験ではないでしょうか。ここから松岡さんの本当の人生と苦難が始まります。

一九七一年に、小さなアパートの一室で「東京子ども図書館設立準備委員会」が発足します。一九七四年、東京都教育委員会の認可を得て正式に「財団法人東京子ども図書館」が設立され、松岡さんが理事長に就任します。それ以来現在まで公的な助成も、企業の援助もまったくなしに私立の図書館が維持されてきたの

です。設立二十周年のときに、松岡さんは書いています。

「世の中には、ほんとうに子どもと本を大切に思う人たちがいて、その人たちが社会のある地層を成している。私たちがそこに土台をおいた家にととえるか、そこに根をおろした植物にととえるか、どちらが適切かわからないが、その地層あつての私たちという気がするのである。私は折にふれてこの地層の存在を実感し、私たちがそれに支えられていることを思わずにはいられなかつた。」

それでも財政的な負担は、常に松岡さんを苦しめ続けたと思います。アメリカのように巨大な公共図書館が NPO 法人として独立し、民間からの多額の寄付と公費によって運営され、政治的・宗教的に中立を保ちつつ独自の活動を展開する。そんな可能性を Librarian として松岡さんは追求されてきました。

遺作として一冊の絵本が出版されました。『えんどうまめばあさんと そらまめじいさんの いそがしい毎日』、老境の自分の日々を、ユーモラスに包み込んだ作品です。

「暮らす」ということが大事、いそがしく、たのしくね。



今学校では

学校長 藤原裕之

令和四年度、新型コロナウイルスの影響を受け続けてはいますが、着実に明るい未来に向けての歩みを始めています。

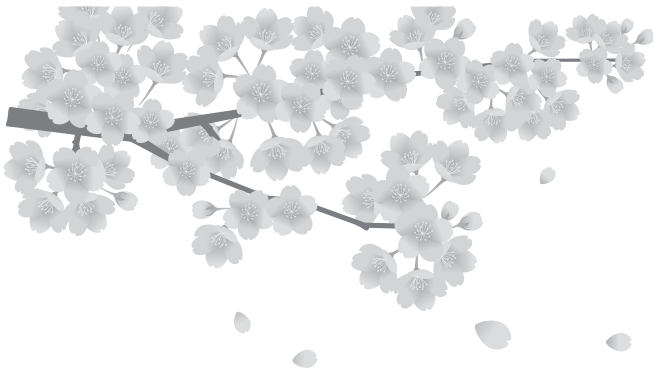
校舎の改修工事は中止が続いていますが、規模は小さくなったものの生徒の学習環境の整備に向けて改修工事が始まりました。その中で、生徒の安全・安心を確保するために、残念ながらモニUMENTや卒業制作の撤去を余儀なくされていることもあります。工事は今年度末にいったん終わりますが、来年度の計画も進んでいます。

学校生活のことでは、令和三年度生徒会により、しまりの見直しが行われました。靴や靴下の色が白でなくてもよくなるなど様々な見直しが行われており、この取り組みは毎年引き継がれていきます。

また、大きな変化といえば、令和三年度から標準服の見直しを行っていましたが、令和五年度入学生からはブレザータイプの標準服となります。

生徒の学校生活も少しずつではありますが変化してきています。今年の三年生は入学式もなく学校生活が始まり、行事の中止・縮小の連続でしたが、関東方面への二泊三日での修学旅行を実施することができました。二年生も南淡路への二泊三日の校外学習を行うことができました。体育会については今年も学年別実施とはなりますが、文化発表会は規模縮小ではありますが舞台の部を復活させることができました。二年間中止となっていた合唱コンクールも十分な練習は依然としてできませんが、県立神戸商業高校の体育館をお借りして実施することができました。

このように学校は少しずつではありますがありますが、WITTHコロナから、コロナ後の生活に向けての光が見え始めています。近い将来、桜の花のもと集える日が来ることを楽しみにしています。





ベールに包まれた歌敷山中学校

教頭 橋田 優子

令和四年度は一年かけて改修工事となりました。夏休み前から足場が組まれ、今では五号館以外が防音幕に包まれています。老朽化した壁を塗り替えるだけでなく、今回は今まで空調設備がなかった教室にもエアコンが設置されることになり、来年度は快適な夏を過ごせそうです。また水圧の関係でトイレが設置されていなかった三号館、四号館の四階にも新しくトイレが設置されることになり、現在も工事が続いています。各校舎の扉も新しくなり、老朽化していた非常階段の修理、建て付けの悪い扉の付け替え、四号館内の壁の塗り替え等、数多くの改修工事が進行中です。とはいえ、一号館から四号館の教室の扉は木製のままで昔の面影を残しています。窓もアルミサッシではなく、木枠の窓のままです。

先日、今は物置になっている教室を整理していたら昭和の時代のものが数多く出てきました。OHPってご存じですか？ オーバーヘッドプロジェクターのことです。私自身が教師になったころはまだ使われていました。透明なシートにマジックで書きこんで下から光を当て、スクリーンに投影する機械です。写真や絵なども透明フィルムにコピーすることができ、当時は保健体育の授業で人体の写真を映して見せていたことを思い出しました。しばしタイムスリップしたような感じで懐かしさを覚えました。その機械も今では電子黒板にとって代われ、活躍することなく空き教室の奥で眠っていたのです。

校則に関して言えば、昨年度の校則検討委員会をもとに、今年度は大きく服装や髪型の自由度が増しました。来年度四月の新入生からはジェンダーフリーの標準服に変わります。見た目が全てではありませんが、見えるものを変えることで、考え方も変わっていくことでしょうか。

歌中生の合言葉として「聞こう、考えよう、話そう」というのがあります。一人一人の個性を大切に、「なぜそうなるのか。」「なぜそうしなければいけないのか。」を自分の頭で考え、行動していける力を、生徒たちには身に着けていってほしいと思います。それはこれからの時代、ますます自分を表現する力が求められるからです。

来年度、校舎のベールがはがされるとき、校舎だけでなく、生徒の内面にも磨きがかかってパワーアップしているよう、教職員一同しっかりサポートしてまいります。

新しくなる「歌敷山中学校」をこれからも応援していただけると幸いです。

母校部活動活躍状況

❖部活動 実績一覧

令和四年四月から十一月までの顕著な成績を紹介いたします。同窓会からはお祝いと激励をいただいております。横断幕、交通費の補助等に使用させていただきます。心より感謝いたします。

〔ソフトボール部〕

四月

神戸市中学校ソフトボール選手権大会

優勝

七月

神戸市総合体育大会

優勝

最優秀選手賞

十月

第六十七回神戸市中学校

新人ソフトボール大会

優勝

七月

第六十二回神戸市中学校

ソフトテニス総合体育大会

個人部 第十六位

団体の部 (県大会出場) 第二位

〔剣道部〕

七月

第六十二回神戸市中学校総合体育大会

男子団体 第三位

女子個人 第三位

〔サッカー部〕

五月

JFA第二十八回全日本U-15

フットサル選手権大会神戸市予選

準優勝

〔ソフトテニス部〕

四月

ルーセントカップ

団体戦 優勝

五月

令和四年度第七十五回兵庫県中学校

ソフトテニス神戸地区選手権大会

個人部 第五位

七月

第七十四回神戸市中学校

サッカー総合体育大会

第三位

十一月

第七十三回神戸市中学校

新人サッカー大会

第三位

〔水泳部〕

七月

第六十二回神戸市中学校総合体育大会

男子一〇〇mバタフライ 第二位

女子一〇〇m平泳ぎ 第一位

女子二〇〇m平泳ぎ 第一位

女子四×一〇〇mメドレーリレー

女子総合 第三位

第六十六回兵庫県中学校総合体育大会

女子一〇〇m平泳ぎ 第一位

女子二〇〇m平泳ぎ 第一位

八月

第五十八回兵庫県中学校

学年別水泳競技大会

- 二年男子五〇m自由形 第八位
 - 二年男子一〇〇m背泳ぎ 第八位
 - 二年女子一〇〇m背泳ぎ 第三位
 - 二年女子一〇〇m自由形 第三位
 - 一年男子一〇〇mバタフライ 第八位
 - 一年女子四〇〇m自由形 第三位
 - 一・二年女子四×一〇〇mフリーリレー 第四位
 - 一・二年女子四×一〇〇mメドレーリレー 第四位
- 第七十二回神戸市中学校
学年別水泳競技大会**
- 二年女子四×一〇〇mメドレーリレー 第一位
 - 三年男子四×一〇〇mメドレーリレー 第三位
 - 二・三女子一〇〇m背泳ぎ 第三位
 - 三年男子一〇〇m背泳ぎ 第三位
 - 三年男子一〇〇mバタフライ 第三位
 - 二年女子一〇〇m平泳ぎ 第二位
 - 二年女子四×一〇〇mフリーリレー 第一位

三年男子四×一〇〇mフリーリレー

二年女子総合

三年男子総合

女子総合

第三位

第一位

第三位

第二位



【拠点校 テニス】

十一月

令和四年度神戸市中学校新人テニス大会

男子シングルス

第三位

【放送部】

七月

第三十九回NHK杯全国中学校

放送コンテスト兵庫県大会

ラジオ番組部門

入選

【吹奏楽部】

七月

第六十九回兵庫県吹奏楽コンクール

第四十五回神戸地区大会

金賞





〔家庭科部〕

九月

第六十八回神戸市立中学校
技術・家庭科作品展

入選

〔美術部〕

十月

令和四年度兵庫県中学校総合文化祭

特選

十一月

第七十四回兵庫県幼・小・中造形教育展

入選

第五十三回「友情をつなぐ絵画作品展」

入選

文化発表会 展示会場図

第75回 神戸市立歌敷山中学校 文化発表会

日時：2022年10月13日 木

ご案内

平素は本校の教育にご支援、ご理解を賜りありがとうございます。本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小しての文化発表会となりました。舞台部は制限を加えて復活しましたが、出演生徒の保護者の皆様にもご覧いただくことができません。また、校舎の改修工事ということもあり、ご観覧にご不便をおかけし申し訳ありません。

本年夏の共通テーマは「限界突破～未来を切り開け～」です。何かに制限の多い文化発表会となりますが、自ら挑戦をすることなく、仲間と共にかけがえのない思い出を創ってほしいと願っています。平日のお忙しい中とは思いますが、ご来校いただき、昨年よりも一歩踏み出した文化発表会をお楽しみください。

令和4年10月5日 神戸市立歌敷山中学校長 藤原 裕之

日時：2022年10月13日 木

舞台部 体育館
13時30分～14時30分(出演生徒の保護者のみ観覧可)

展示の部 1号館・武道館
9時00分～12時00分 12時30分～14時45分

★理科 ★3年学年展示 ★家庭科部
★技術家庭科 ★生徒会 ★美術部
★美術科 ★徳芸部 ★コンピュータ部

舞台部のプログラム

- はじめのことば 生徒会長 赤松 凌河
- 学校長あいさつ 藤原 裕之
- 放送部「限界突破～未来を切り開け～」..... 生徒会
- 演劇「千と千尋の神隠し」..... 放送部
- おわりのことば 図書委員長 佐々木真弥

舞台紹介

★生徒会「限界突破～未来を切り開け～」
生徒会共通テーマ「限界突破～未来を切り開け～」を題材にした短編ドラマです。私たちに限界は存在するのでしょうか。どうぞお楽しみください。

★放送部「千と千尋の神隠し」
映画「千と千尋の神隠し」の面白さを20分にまとめた演劇です。個性豊かなキャラクターたちになりきったかのような迫力のある演技に注目してください。放送部全員がゴールとなって練習した成果をぜひご覧ください。

限界突破～未来を切り開け～

歌中歌壇

俳句

十七回生 高杉 優子

母校の草木によせて

(柳と芝生は今はなくなっています。)

桜仰ぐ空と思ひ出広がる

藤棚に半世紀ぶりの友や笑む

百葉箱白く光りぬ初芝に

青柳の背にどっしりと淡路島

川柳

三回生 青木 公輔

恋は斜めに降る降るコロナ消すように

漫才のネタが時々ノックする

楽屋裏ここも女の七変化

あの一言が未だ言い切れず霧の中

背泳ぎがうまい井もりも



川柳

十七回生 三田 雄策

よく言うよ 自画自賛を 爺さんが……

除夜の鐘 かねを突くより 金作れ

今夜も しみるぜ 酒の味

金と同じで たまらん たまらん……

人生は、ちよんぼちよんぼの 繰り返し

まあ今年ほちよぼちよぼとゆきましよう

また やった!

逃げたつもりが ネズミとり

たまには ネコんで 見のがして…

三密より 壇蜜

遠藤はるばる

CTスキャンダル

国亡婦人会

二枚舌看板

古民家ならぬ ゴミン家(三田亭)

金属被労働感謝の日

シャーロック・ホームズ「真鱈のヒモ」
松尾 不精

美術と音楽の融合

同窓生
だより

藤野 直計
(14回生)



同窓生
だより

門前 喜康
(19回生)



古希を記念して

書柳集「きこきこき」出版

一昨年のある日、同級生の田口（旧姓・西郷）紀子さんから電話が入った。

「わたし、『おのれしよ』を書いてるねん」と切り出された。「オノレシヨ？」私は、一瞬何のことかと思いつつ、よく聞いてみると、『己書（おのれしよ）』とは、筆ペンを心の赴くままに自由に走らせ、絵を描くように書く書道のことだという。田口さんは、「己書師範になり自分の作品を纏めたいので、門前くんの川柳を書かせてほしい」というのである。

私は、サンテレビの報道記者をしてい

た一九九五年に起きた「阪神・淡路大震災」をきっかけに、川柳作家でエッセイストの時実新子に師事し川柳を書いてきた。彼女は、新聞の文芸欄に載っていた私の句を思い出し川柳を書こうと思いついたという。私は、「震災二十年を祈念して出版した川柳集から自由に書いてもらったらい」と返事したのだが、「私は、己書と一緒にお地蔵さんを描きたいので、お地蔵さんをテーマにした川柳を幾つか書いて欲しい」とのこと。これは、難題だったが、これまで「地蔵」を題とする句は、詠んだことは無かったので躊躇したのだが、女性パワーで押し切られた。そんなやり取りをしている中、「お互い古希だから記念に、共著」として出そう」ということになった。私の句を田口さんが味わい、お地蔵さんの表情に表す。私たちは、かつて経験したことのない「書柳集」なるものを作ることになった。タイトルは、喜康（きこう）と紀子（きこ）が古希になり「きこきこき」。

全五十五句を掲載した。一部をご紹介します。

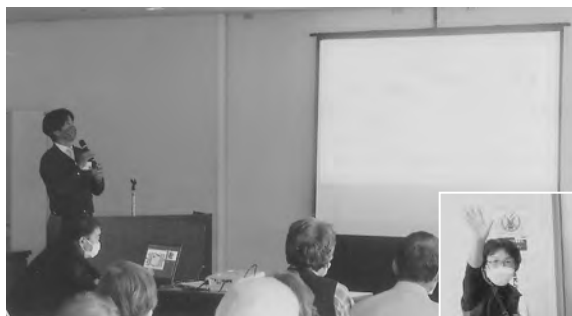
六道はそれぞれあるが地蔵笑む
お供えは私の飛びきりの笑顔
おーい雲なぜ堂々とずる休み
きょうの空 宅急便で送ります
アカペラで生きて行くぞと空仰ぐ

歌敷山中学校の同窓生で紡いだ「書柳集」。
とても大切な古希の記念となった。



己書の書体
己書は、普通に書いている文字とは書き方が少し違います。かなは少し太いところがある、丸になる部分は大きくする、右から左に筆運びをする、など特徴のある書体で書きます。書体の面白みを感じ取っていただけたら良いと思います。

己書 初心者 岡田 邦夫



総会時に講演いただいた
樹木医の高橋宣仁氏



令和四年度同窓会総会
 令和四年十一月五日
 レバンテ垂水多目的ホール



11 回生・15 回生



7 回生・8 回生・9 回生

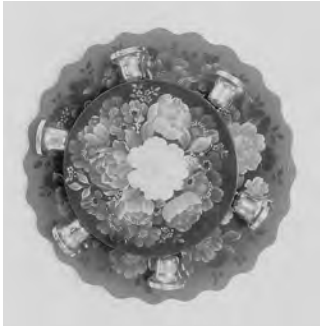


20 回生・22 回生・26 回生・29 回生



17 回生

紙 上 作 品 展



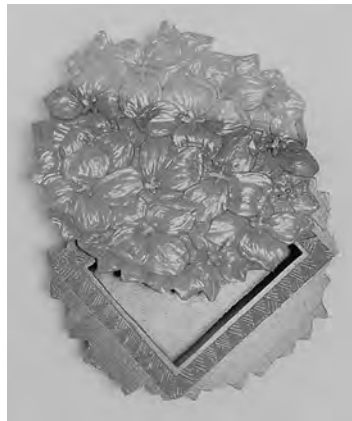
「リース」
ピオニーペインティング



「置時計」
ピオニーペインティング



「ブック型小物入れ」
ピオニーペインティング



「あじさい小物入れ」
木彫



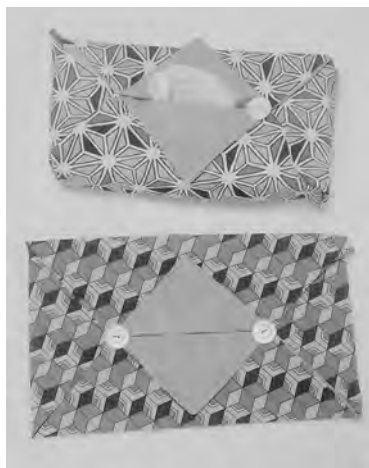
「小物入れ」
ピオニーペインティング



「宝石箱」木彫



「宝石箱」木彫



「ティッシュボックス」 藤村 洋子 (6回生)



「テーブルクロス」 藤村 洋子 (6回生)



「レース編み帽子、バッグ、小物入れ 他」
林 佐名哉 (7回生)



「コギン刺しクッション」 高杉 優子 (17回生)



「コギン刺しクッション」
高杉 優子 (17回生)



「コギン刺し小物バッグ」
高杉 優子 (17回生)



「コギン刺しショルダーバッグ」
高杉 優子 (17回生)



2022年度 神戸 YPC 写真展出品
「三笠山にて」 井上 基子 (8回生)



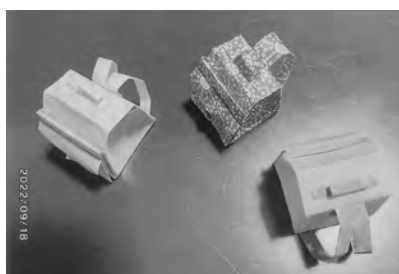
「羽根と羽子板」



「クリスマス会とミッフィ」



「一輪さし」



「ランドセル」



「お月見」

折紙 阿部 洋子 (17回生)



2022年度 二科展会友出品
「追儺」 大和 啓子 (7回生)



「森の妖精」 大和 啓子 (7回生)



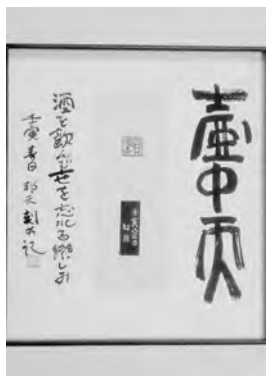
「一献いかが」
書写山円教寺



「鋼鉄の輝き」 京都鉄道博物館



「湖面の春」
平安神宮神苑



「壺中天」 後漢書 方術伝

「壬寅」 紀年印

岡田 邦夫 (17回生)



天の橋立の智恩寺に作品「雲外蒼天」(8尺)を奉納
2023年新春



高野山宿坊の遍照尊院に「桃栗三年柿八年…」(5メートル)
を展示しています。
もう1点「般若心経」8尺の「14聯幅」を屏風で展示されます。
2024年予定



高野山金剛峯寺に「天在内」(3.5メートル)を奉納
2022年5月

*同窓会近況報告・メッセージ (令和4年)

2022年11月末現在

1	1回生G組	小山美和子	昭和20年夏、大東亜戦争が終わり、新制中学第一回生として入学。物資、食糧難の生活に耐えて成長し、今年88才の米寿を迎えた。感無量。
2	1回生K組	木下 トミ	88もすぎ何かと体調がすぐれず老化を感じます。残念ながら出席できず失礼しますが歌敷山中学校の同窓会の発展をお祈りしています。
3	1回生K組	竹中 義明	米寿を迎えました。お陰様で元気です。母校・同窓会の益々の御発展を祈念いたします。
4	2回生E組	祖多佳代子	なんとか自立して夫婦二人暮らしをこなして居ります。同級生の方とも電話で親しいお付き合いを続けています。
5	2回生G組	石谷 孝	なんとか元気です。お世話さんです。
6	3回生A組	青木 公輔	川柳と歌謡曲の二刀流でがんばっています。
7	3回生B組	壺井悠紀子	残念ですが体調をくずしていますので出席出来ません。親・子・孫三代お世話になりました。有難うございました。
8	3回生C組	林 照夫	毎日元気に自活生活です。
9	3回生C組	北川 豊	現在パセドー氏病を患いまして、枕の世話になっています。老人会に入会をし人とのふれあいを暖めて居ります。
10	3回生E組	大西 忠	元気ですが、もう遠くへは行けません。
11	6回生D組	橋原美知子	元気にしております。
12	6回生E組	伊達 愛子	元気で過ごしています。お世話をして下さっていた伊藤宏さんが亡くなられて淋しいです。
13	6回生F組	長屋 幸子	お陰様で元気にしております。
14	6回生G組	今井 功	コロナのため神戸へは3年ごぶさたしています。来年こそは行くことができるよう願っています。卒業して67年、83才となりますが、年相応に元気に過ごしています。
15	6回生G組	宮崎 正巳	昭和27年4月に明石市立江井ヶ島小学校から8人の仲間が歌中に越境入学して70年経ちました。3年前に大病を患いましたが運良く復活。83歳。明石市魚住町で元気に暮らしております。
16	6回生G組	渡辺 豊	元気で余生を楽しんでいます。神戸を離れて65年往時を懐かしく思い出すことがあります。
17	7回生B組	吉川 雅代	元気に毎日を送っています。
18	7回生D組	林 佐名哉	兎に角コロナが収まってほしいです！多分、人間の力で発生した事だと思しますので、これも収束してほしいです。気が休まると思えます。
19	7回生F組	山上 淑子	片目がほとんど見えなくなり外出（遠出）が出来なくなりました。元気に一人暮らしガンバっております。
20	7回生F組	黒島 陸枝	コロナにより久しぶりの総会 今まで参加して下さっていた先輩方皆様お変わりございませんか 例年と違い会場及び催しも違いますがお元気にご出席頂きお会いするのを楽しみにしております。これからは若い方の参加を宜しく願います

21	8回生A組	坂口 綾子	なつかしい時代を思い返ししながら楽しみに待っております。
22	8回生C組	森田 勲	私もワクチン接種を都度行ない、いたって元気に過しております。
23	8回生E組	安藤万里子	7月に尾瀬をトレッキングしました。10月には絶海の孤島隠岐の島で神秘的な奇跡の島をめぐるしました。
24	8回生G組	曾谷 全博	私事ではありますが9月始めに「原発性副甲状腺機能亢進症」で手術後10日間入院治療し快復途中です。いまだに土・日・祝日は孫達の相手です。当日も来るとの電話あり残念ながら不参加です。総会の盛会と皆様方の御健勝を祈念致します。
25	8回生H組	圓藤 清	八十路になりましたが元気に過しています。
26	8回生H組	藤井 靖之	80代に入ってムリが効かなくなりました。しかし時々バスハイクに参加して、山に登り、又、ウォーキングにも参加していて、体を動かしています。
27	8回生I組	早川 弘子	コロナ禍も予断をゆるされぬ今日、同窓会総会を開くこと出来よかったですね。でも残念ですが参加出来ず申し訳ありません。その内に参加できることを期待しています
28	9回生B組	沼舘 廣彦	歌中で音楽教員をされていた守屋幸子先生が永らく指揮をとられていた混声合唱団コーロの設立30周年記念演奏会を来年10月神戸文化大ホールで予定していましたが抽選もれ。来月再挑戦です。当たります様、皆さん祈って下さい。
29	9回生C組	富永 浩之	子供達がついこの間、自分が通り過ぎた時期を、仕事に、子育てに、一生懸命生活しているのを見て、“光陰矢の如し”を実感しています。
30	9回生C組	山本 耕二	小生は近年、腰痛及び足首の起因する自力歩行が困難な状況にあります。ご盛会をお祈り申し上げます。
31	9回生E組	富士 隆司	貸農園で野菜づくりを楽しんでおります。
32	9回生F組	中尾 隆三	今年3月56年のサラリーマンを無事卒業。ホッとしたら8月にコロナ感染。何事も油断せず自由満喫。残る人生を一番楽しく平和に過ごしたいです。
33	9回生H組	大谷 靖彦	元気にしています。筋力が衰えないように運動を心がけています。週4日、出勤しています。
34	10回生B組	片岡 洋一	体調不良。
35	10回生E組	九野早智子	参加したいのですが歩行困難になり外出できません。残念です！事後の広報楽しみにしています。
36	10回生F組	西川 孟伸	出席出来ず残念です。当方元気に過ごしています。皆様のご健康をお祈り申し上げます。
37	10回生I組	伊藤 忠明	元気に過ごしております。
38	10回生J組	田中 正剛	孫が中三で在校生です。
39	11回生A組	竹崎 壽子	あの時の制服のスカート布団の下に寝じき、朝起きると……帰り道ヤマモモの実あまかった。一日一度楽しいことが 皆様お元気でお過ごし下さい。

40	11回生A組	松下 孝輔	毎日楽しく過す様に努めています。家族の協力を得てありがたい。
41	11回生B組	北川 守	元気になっています。家内の要介護入りで自由時間に制約が出来、同窓会活動もままなりません。同窓会の益々の発展を祈念しています。
42	11回生C組	中村 和弘	全国40の旧JRの第3セクターの旅(鉄印をゲットする)に出ています。
43	11回生D組	北川千代子	民踊、ハイキング、婦人会の活動で忙しくしています。
44	11回生D組	山本寿美子	先日「免許更新のお知らせ」を受け取りました。夫は今年自主返納し、北海道から九州まで走ってくれた愛車を廃車にしたので、私も返納の予定です。
45	11回生F組	鈴木茉由美	終わりの見えないコロナと高齢者が共存しながら負けるものか!!と意地を張り合う日々如何なものでしょうか?嫌な毎日ですね。楽しく笑って元気に毎日を過ごしたく存じます。コロナの愚か者!!歌中の益々の御栄えをお祈り申し上げます。
46	11回生G組	大谷 國彦	昭和35年の卒業生ですが、その頃には歌中生の心得として①何でも何故と考えよう、②勤んで仕事に汗を流そう、③……③が何だったか、分かりません。教えて下さい。
47	11回生H組	中井 峯生	元気です。
48	11回生H組	山下 和代	元気になっております。
49	11回生I組	藤井 英明	元気です!
50	13回生7組	島田 和子	人生の後半ですが、忙しい日々をおかげ様で過しております。
51	13回生10組	浜名 寛自	今年も元気です。
52	14回生6組	中村由紀美	なんとか元気に生活しております。
53	15回生2組	尾崎 幸一	50年ぶりに育った霞ヶ丘の地に戻ってきました。歌敷山中学校の繁栄と生徒の皆さんの活躍に今後も期待しています。
54	15回生3組	高谷 道德	高谷は手術、療養生活中、再発なら余命短し!!まあ、皆様と一緒にです。世界団体卓球女子日本代表にアドバイスするのが趣味です。これまでの歌中同窓会(飲み会)への出席を感謝しております。同窓会報には支援金の用途を必ず記載され、明朗にすること!!なお、過去の領収書も必要です。怠慢は不可です。
55	15回生5組	中村 光政	元気になっています。趣味の音楽や旅行、家事手伝いも含めて毎日忙しくしています。
56	15回生6組	松田 鏡子	年令からくるしんどさもありますがコロナ・熱中症対策と休まず頑張れている事に感謝の日々。
57	15回生7組	平沼加代子	卒業して59年。来年は記念同窓会60周年を迎える。来年はぜひ皆さんご出席下さい!75歳になるのですね。元気が一番ですね。健康第一で行きましょう。
58	15回生8組	木暮 育美	卓球協会の役員として続けて試合のお手伝い等しています。
59	15回生9組	衣笠知津子	久し振りにお会い出来るのを楽しみにしています。

60	15回生 9組	西島すみ子	孫達が、たくさんの事に興味を示し、楽しんで頑張っている姿に、微笑ましく癒され幸せを感じ、喜んでいる今日この頃です。
61	15回生 9組	南部栄一郎	仕事も趣味も楽しんでいます。
62	15回生12組	岡田 英男	元気でやっています。心配なく同窓会で皆に会える日を楽しみにしています。
63	15回生12組	橋本千賀子	元気に過ごしております。
64	15回生13組	須見 敬子	野菜づくりの仲間と日々、元気に過しています。天候と、土と虫と、自然の中で植物の育っていく様子と、収穫時の楽しさを味わいつつ、仲間とも自然とも仲良くして貰っています。
65	15回生15組	黒田 治	健康で元気に暮しております。
66	15回生16組	岡本 豊	自治会の活動で忙しいです。
67	15回生17組	中利 敏明	右股関節手術して1ヵ月、リハビリ中です。少しずつ良くなっています。来年は参加したいと思います。
68	16回生 4組	橋本 渉一	フィリッピンにおける鉄道建設プロジェクトに参加しています。マニラへの長期出張が続きます。
69	16回生 5組	吉澤千津子	中学校卒業してはや半世紀です。他県に住んでいますと、同窓会報をみて“歌中”の様子、懐かしくおもいます。
70	16回生10組	坂東 道代	いつか参加出来ますことを願って、体力維持に努めます。
71	16回生11組	愛甲 正昭	難病をわずらい大変ですが、頑張っております。
72	17回生 1組	座本 芳博	昨年 11 月、原田の森美術館にて「古希記念・大汪の書」を開催。26 点の作品の中、1 点⇒37m を制作。その後、本年 5 月に高野山金剛峰寺に「天在内」3m（縦）x0.84m（横）を奉納いたしました。
73	17回生 2組	吉森 和子	桜や金木犀の手前に、ししとう、ナスビ、ピーマンの木が、風にゆれています。それをながめながら、私はといえば、仕上げにスマホ入れをさっそく、首や肩にかけてみえています。My Melody の布に赤いひもをつけました。ピンクの布地です。皆様コロナも一息のりこえましようね。
74	17回生 2組	岡田 邦夫	近所の木下邸・武藤邸の案内ボランティアをしています。なんとか元気です。
75	17回生 3組	阿部 洋子	コロナに負けず、元気です!! ボランティア活動がんばってます!!
76	17回生 3組	大橋 邦夫	この年(72才)になって会社 OB 会の幹事や賃貸しているマンションの理事長なんか? になっています。その為少し脳と心臓の活性化になっている様。
77	17回生 3組	藤本 純子	ひざを傷めてこの 1 年なんとか普通に歩けるようになりました。先輩の方々にいろいろお世話になりました。感謝しています。コロナで失ったもの、教訓として得たものなど日常に生かせたらと思いつつボランティア活動に励んでいます。また会報原稿、作品出展にご協力いただきお礼申し上げます。

78	17回生4組	鳥井田剛一	舞子小学校昭和38年3月卒業生の同期会、3年続けて延期しているうちに川口勝君が亡くなってしまいました。療養中ながら同期会に一番に賛同協力したのは彼でした。又、55年ぶりにもかかわらず「鳥井田！お前のこと良く覚えてるぞ！」と言ってくれたこと思い出しながらコロナ終息を待っているところです。
79	17回生4組	山際 丈	明石岩屋神社秋大祭が3年ぶりに開催されました。今回は同窓生の皆さま、大勢ご参加をお願いします。
80	17回生5組	阪口 礼子	2年前から始めた趣味が楽しくて、もう少し続けようと思っています。
81	17回生6組	桑原 仁志	シニア生活を元気に楽しく過ごしています。
82	17回生6組	真期 晴代	夫婦共に揃って元気にしています。皆様とお会いできる事を楽しみにしています。コロナ、早く終息して欲しいですね。
83	17回生6組	三田 雄策	厄病など蹴散らして余生を楽しんでおります。周囲から迷惑がられつつも、元気一杯!! 連絡はケータイ・メールより肉筆に限る一でずぜ!!
84	17回生7組	前田喜美子	元気で過しています。
85	17回生7組	伊藤 博	最近日曜日は休息日にしていますが、特に用事がなければ毎朝(雨天を除き)約1万歩のウォーキング&バードウォッチングで元気に過しています。
86	17回生9組	市川 隆司	この地(朝来)に来て10年近くなり、垂水の街も様変わりそうですね。住宅も改築が進み、商店街も再開発で、会場周辺も一変するのではと思っています。歌中同窓会も更なる発展をすることと祈っています。
87	17回生9組	高杉 優子	頭は動きませんが、元気に身体を動かしています。ヨガ、アクアピクスなどがんばっています。
88	17回生10組	戎家 博幸	今年、6度目の干支(寅)を迎えましたが、元気に過ごしています。この年になると、青春時代…特に野球に打ち込んだ母校が懐かしく思えます。チームメイトは何処に居るのかなあ。元気かなあ……。
89	18回生11組	正木真一郎	元気に神戸市内でキャンプ場を経営しています。
90	18回生13組	櫻井須美夫	元気で仕事がんばってます。
91	19回生1組	小林 浩二	コロナの中、外出の少なくなっている様ですが、ゴルフだけは月に数回出かけしています。元気だけはもっています。
92	19回生8組	塩谷 隆則	現在、公益財団法人橋谷奨学会で留学生支援を行っています。
93	20回生4組	森崎 俊夫	コロナ禍で何かと制約が多い状況下ではありますが、Withコロナで頑張っております。
94	20回生5組	田中 千穂	足の状態が良くなって、欠席させていただきます。
95	20回生5組	山平 滋子	美容室を経営して、もうすぐ丸40年です。来年に閉店を決めています。大病もせず今日まで続けられた事に感謝です。

96	20回生 7組	森松 伸一	大学定年後も働けることは幸いです。海外との交流が停滞しているのを打破したいと思います。
97	21回生 3組	中村 鎌司	病気もせずに元気にやっています。
98	24回生 4組	林 隆嗣	現在、神戸中央郵便局かんぽサービス部でフルタイムで勤務しています。令和5年3月末で完全退職ですが、健康維持のため当分の間はアルバイトは続けるつもりです。まだまだ元気です。
99	24回生 4組	阿部まどか	今年8月に右膝を手術し総会当日3ヶ月健診になってますので欠席させていただきます。
100	29回生 2組	加藤 成久	60才となる年となりました。中学校区のワクを越えて同窓会兼運動会のイベントで盛り上がりました。
101	29回生 2組	関口比佐子	現在も仕事、町内会役員、民生委員とばたばたしていますが、孫とひ孫もふえてたのしくしております。
102	30回生 7組	丸谷 聡子	明石市議会議員（無所属市民派）2期めとして、環境教育コーディネーターとして活動しています。また皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。
103	69回生 6組	武田 史明	勉強を頑張ってます。

* 物故者（お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます）

(3回生 H組) 岡橋 啓二	(9回生 D組) 岡本 節子
(3回生 J組) 森 泰弘	(9回生 H組) 須賀 英雄
(3回生 L組) 小坂 芳弘	(9回生 G組) 南部 直敏
(3回生 M組) 大隅 惇吉	(10回生 H組) 濱崎 敬子
(6回生 B組) 馬躰 重満	(11回生 B組) 勝見 正則
(6回生 D組) 筒井 孝宣	(11回生 D組) 川崎 拓央
(6回生 F組) 藤澤 宣義	(15回生 15組) 山本 良治
(6回生 G組) 吉川 一彦	(17回生 2組) 川口 勝
(7回生 C組) 高橋とし子	(17回生 12組) 小島 早苗 (小倉)
(9回生 B組) 河辺とよこ	

◆◆◆◆◆ 母校・同窓会のあゆみ ◆◆◆◆◆

- S22・4 霞ヶ丘中学校として発足、初代校長 岸田永貴着任
- 23・3 舞子中学校独立分離
- 4 西倉福一教頭着任
- 5 本校を現垂水中の処に移す
- 24・11 霞ヶ丘、舞子中学校を統合 歌敷山と改称 現在地に新校舎(12教室)完成
- 25・5 歌敷山中学校同窓会の発足と規約発表
- 8 増築校舎(16教室)完成 新校舎に移る 垂水分教場に1年生が残る
- 26・9 垂水分教場に新校舎(16教室)完成
- 27・4 垂水中学校独立分離、第2代校長 松岡敏郎着任
- 柴 勇作教頭着任
- 31・4 服部 孝教頭着任
- 32・8 第1期鉄筋校舎完成(1号館)
- 33・8 兵庫県中学校駅伝優勝
- 35・3 第2期工事(講堂兼体育館)完成
- 4 第3代校長 堀 敏夫着任
- 36・3 柏木 武教頭着任
- 3 旧2号館(木造2階建)北パイプ教室焼失
- 8 第3期鉄筋校舎(1号館)増築完成
- 11 第4期鉄筋校舎(9教室)現2号館完成
- 37・4 小川絢夫教頭着任
- 9 第2運動場完成
- 11 正門完成
- 38・4 第4代校長 丹羽泰行着任
- 39・8 プール建設工事成済 プール開き
- 40・4 中藤光夫教頭着任
- 41・4 第5代校長 松井富左一郎着任
- 42・3 舞子中学校独立分離
- 4 水野一也教頭着任
- 11 創立20周年記念式典ならびに記念像除幕
- 46・4 藤原隆夫教頭着任
- 47・3 4号館鉄筋校舎完成
- 48・2 第6代校長 前田光一着任
- 7 中庭に池完成
- 11 3号館鉄筋に改築
- 7 1号館、4号館に渡り廊下設置
- 49・7 3・4号館各4教室の増築
- 8 運動場大時計取付
- 50・4 中塩田鶴子教頭着任
- 9 「亮天功」の石碑の建立並びに除幕式
- 51・1 全日本よい歯の表彰5年連続表彰
- 9 神戸市よい歯の表彰最優秀校受賞
- 9 神戸市社会福祉事業協力者受賞
- 10 ソニー理科教育振興資金優秀受賞
- 52・4 鷹津郁朗教頭着任
- 6 市民図書館開設
- 11 創立30周年記念式典 学校保健、文部大臣賞を受賞
- 「奉仕」の道・憩の広場、岩石園、英知の泉の完成
- 53・1 創立30周年記念カプセルを第1教材園に埋める
- 12 全日本よい歯の表彰 10回連続表彰
- 3 文部大臣賞受賞記念岩石園、日時計の完成
- 11 全日本PTA会長表彰受賞
- 3 同窓会再建準備委員会発足
- 54・2 歌中の合いことば・生活信条プレート完成
- 2 第7代校長 細見英太郎着任
- 11 奥村賞推薦賞を受賞
- 55・3 奥村賞記念碑「よい歯を生涯保健のために」の除幕
- 4 奥野 拓教頭着任
- 6 同窓会総会(母校講堂)同窓会規約改定(第1回)
- 12 竹中義明(1回生)会長に就任 約100名の卒業生並びに職員参集
- 56・4 同窓会会報第1号発行
- 8 第8代校長 高見興作着任
- 57・2 第1運動場の防球ネット完成
- 5 旧2号館(木造校舎)の解体、撤去
- 5 増築校舎(5号館)並びに付属施設・設備の設置

- 7 母校PTA同窓会三者懇談会
8 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
9 母校創立60周年記念事業実施(桜植樹、屋外時計柱改修等)
10 母校創立60周年記念文化発表会
11 同窓会総会11月10日(土)午後(舞子ピラ)開催
20
3 59回生卒業式、同窓会入会式
4 藤本昭宏教頭着任
6 母校学校公開(桜の学校開放) 62回生入学式
6 母校PTA同窓会三者懇談会
8 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
9 体育会
10 文化発表会
11 同窓会総会 2年生トライやる・ウィーク
21
3 60回生卒業式、同窓会入会式
4 母校学校公開(桜の学校開放) 63回生入学式
6 母校PTA同窓会三者懇談会
8 2年生トライやる・ウィーク
8 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
9 体育会
10 文化発表会
22
3 61回生卒業式、同窓会入会式
4 第18代校長 阪田俊晃着任
6 母校学校公開(桜の学校開放) 64回生入学式
6 母校PTA同窓会三者懇談会 2年生トライやる・ウィーク
8 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
9 同窓会設立60周年事業実施(歌中生合言葉・生活信条プレート改修、亮天功、石碑説明石板新設等)
23
3 文化発表会 同窓会設立60周年記念同窓会総会
4 62回生卒業式、同窓会入会式
4 齋藤公誉教頭着任
65回生入学式(二二五名入学)
- 6 母校PTA同窓会三者懇談会
9 体育会
10 文化発表会
11 同窓会総会
27
3 66回生卒業式 同窓会入会式
4 今井敬太教頭着任
69回生入学式(二二八名入学)
- 6 母校PTA同窓会三者懇談会
9 体育会
10 文化発表会
12 1号館エレベーター工事完成、運用開始
24
3 63回生卒業式、同窓会入会式
4 母校学校公開(桜の学校開放) 第2回ホームカミングデー開催
66回生入学式(一九八名入学)
6 母校PTA同窓会三者懇談会
9 体育会
10 文化発表会 同窓会総会
12 歌中ふれあいグランドゴルフ大会(雨天中止)
25
3 64回生卒業式、同窓会入会式
4 母校学校公開(桜の学校開放) 第3回ホームカミングデー開催
前田隆彦教頭着任
67回生入学式(二四八名入学)
6 母校PTA同窓会三者懇談会
8 陸上部(拠点校部活)、全国大会(男子共通四〇〇m)出場
9 体育会
10 文化発表会 同窓会総会
12 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
26
3 65回生卒業式、同窓会入会式
4 母校学校公開(桜の学校開放) 第4回ホームカミングデー開催
1号館太陽光発電パネル稼働開始
第19代校長 玉橋雅人着任
68回生入学式(二二九名入学)
6 母校PTA同窓会三者懇談会
8 第1グラウンド改修工事
9 体育会
10 文化発表会
11 同窓会総会
66回生卒業式 同窓会入会式

6	8	9	10	11	12	3	4	6	8	9	10	11	12	28	3	4	6	8	9	10	11	12	29	3	4	6	8	9	10	11	12	30	1	3	4		
母校PTA同窓会三者懇談会	水泳部、全国大会(男子二〇〇m・四〇〇m個人メドレー、四〇〇mリレー) 出場	体育会	文化発表会	同窓会総会	・同窓会会長 山口雅登(17回生) 新会長に就任	歌中ふれあいランドゴルフ大会	67回卒業式 同窓会入会式	母校学校公開(桜の学校開放) 第6回ホームカミングデー開催	70回生入学式(二六三名入学)	母校PTA同窓会三者懇談会	放送部、全国大会(アナウンス部門) 出場	第69回体育会	第69回文化発表会	同窓会総会	歌中ふれあいランドゴルフ大会	第68回卒業式 同窓会入会式	第20代校長 前川志のぶ着任	母校学校公開(桜の学校開放) 第7回ホームカミングデー	71回生入学式(二四二名入学)	母校PTA同窓会三者懇談会	サッカー部、全国大会(熊本県) 出場	第70回体育会	第70回文化発表会	母校創立70周年記念事業実施(英知の泉整備・浄水ポンプ3台更新、1号館障害者用トイレ整備 体育館舞台袖幕・文字幕取替)	同窓会総会	・同窓会規約改定	歌中ふれあいランドゴルフ大会	5号館改修工事竣工 多目的ホール新設・同ホールに大型スクリーン設置	第69回卒業式 同窓会入会式	吉田幸司教頭着任	母校学校公開(桜の学校開放) 第8回ホームカミングデー開催	72回生入学式(二四二名入学)	「神戸市立中学校部活動ガイドライン」策定、平日(水曜日)及び週休日(土・日曜日)の部活動緩和				
6	8	9	10	11	12	1	3	4	6	8	9	10	11	12	31	1	3	4	6	8	9	10	11	12	9	10	11	12	1	3	4	6	8	9	10	11	12
母校PTA同窓会三者懇談会	水泳部全国大会出場(女子一〇〇m・二〇〇m自由形)	第71回体育会	第71回文化発表会	同窓会総会	歌中ふれあいランドゴルフ大会	1号館・2号館トイレ改修工事竣工	第70回卒業式 同窓会入会式	沖憲治教頭着任	母校学校公開(桜の学校開放) 第9回ホームカミングデー開催	73回生入学式(二四六名入学)	母校PTA同窓会三者懇談会	水泳部全国大会出場(女子五〇m自由形・一〇〇m自由形・四〇〇mメドレーリレー)	水泳部国民体育大会出場(女子五〇m自由形・一〇〇m自由形・四〇〇mリレー)	第72回体育会	第72回文化発表会	同窓会総会	歌中ふれあいランドゴルフ大会	第71回卒業式	第21代校長 藤原裕之着任	74回生入学式(二二九名入学)	第73回体育会(学年別)	第73回文化発表会(一部中止)	第72回卒業式	小笹美賀子教頭着任	75回生入学式(二五三名入学)	第74回体育会・文化発表会同時開催	第73回卒業証書授与式	橋田優子教頭着任	76回生入学式(二五一名入学)	外壁改修他工事(→R5・3)	文化発表会・第75回体育会	同窓会総会	谷野功治校長着任				

ホームページの公開

同窓会事務局 山際 丈 (17 回生)

ホームページがリニューアルされました。デザイン性に優れ、見やすく、扱いやすさを目標にしています。同窓生の皆さんどしどし活用してください。

なお、閲覧者からのご意見等をメールにより承ることができますので合わせて活用ください。

(特別寄稿)

祭り文化と同窓会

垂水の住宅地で育った私にとって「祭り」は身近なものとは云えませんでした。そんな私にも、にわかに「祭り」が身近なものとなったのは平成 28 年の夏でした。高校時代の友人が明石岩屋神社布団太鼓保存会を起ち上げるので手伝ってほしいと相談されたのです。岩屋神社とは何の関わりもありませんが、50 年ぶりの市内巡行の復活が私の心の琴線を刺激したのです。少子高齢化で地域住民（明石浦漁港の漁師）もずいぶんと様変わりして、「祭り」に興味を持つ人はほとんどいない状況でした。友人は幼い頃の布団太鼓や神輿の練り合わせの強烈な印象が心に焼き付いていて、市内巡行がトラックの荷台に太鼓を乗せて行われるという状況に強い危機感を抱いていました。そこで、私財や人を個人的に投入して布団太鼓の市内巡行を 50 年ぶりに復活させたのです。40～50 人は必要な担ぎ手の確保や太鼓の補修など難問はいっぱいありましたが見事復活市内巡行を敢行しました。さすがに、近隣住民でもお年寄りも懐かしかったようで大いに盛り上がりました。現在では、会員も 100 名を超え担ぎ手の確保は地元だけではなかなか出来ませんが、近隣の神社の保存会からの応援を得て毎回盛大に実施されています。



ところで、「祭り」の市内巡行には、歌中同窓会のメンバーが数多く参加してもらっています。「祭り」の後には親睦会が催されていて、同窓会活動の振興にも一役買っているようです。この機運を出来るだけ広げていけたらと思っています。

地域社会が崩壊されているということが叫ばれて久しいですが、この「祭り」が地域社会の接着剤として大いに役立っていることは明らかです。遠方に出て行った子や孫たちが帰省するのも「祭り」が契機となっています。ぜひ「祭り」を通して地域の結束力を高めようではありませんか。

トップページ



UTASHIKUYAMA JHS CLASS REUNION
歌敷山中学校
同窓会

[会長あいさつ](#)
[母校・同窓会の歩み](#)
[同窓会規約](#)
[卒業生数](#)
[組織](#)
[お知らせ](#)

個人情報保護について
▶ 会報バックナンバー
▶ 母校・同窓会短信



春若草の萌え出する
 霞が丘の朝ぼらけ
 伸びゆく生命健やかに
 若き世紀をいま謳う
 あこがれの学び舎ここぞ
 あゝ歌敷山

新着情報



お知らせ

2022.11.15

住所などの変更は

会員に住所等の変更があった場合、同窓会ホームページ「正会員名簿の個人情報保護・管理に關して」の項目5に記載さ...



歌敷山中学校
同窓会

お知らせ

2022.11.4

同窓会総会開催！

下記内容で同窓会総会を開催します。ふるってご参加ください。歌敷山中学校同窓会総会プログラム



お知らせ

2022.2.20

歌敷山中学校同窓会員の皆様へ

拝啓 余寒なお骨身にこたえる日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。「歌敷山中学校同窓会会報」の最新号...

[一覧をみる](#)

歌敷山中学校同窓会事務局

〒655-0037 神戸市垂水区歌敷山2丁目4-1 神戸市立歌敷山中学校内

TEL : 078-707-8864

[▶ 母校ホームページ](#)



[〜 Page Top](#)

© 2021 UTASHIKUYAMA JHS CLASS REUNION

会計報告

令和4年3月31日現在

財務委員会

令和3年度 (R3.4.1 ~ R4.3.31) 決算報告書

(単位：円)

	収入の部		支出の部	
	項目	金額	項目	金額
一般会計	前期繰越金	4,956,441	会議費	20,189
	新会員会費	703,297	事務費	0
	預金利息	41	通信費	0
	支援助	348,000	奨励金	300,000
			慶弔費	40,000
		印刷費	266,650	
		特別事業費	502,530	
		総代会計へ振替	-105,829	
		次期繰越金	4,984,239	
	小計	6,007,779	小計	6,007,779
総会会計	総会費	0	会議費	0
	賛助金	422,000	事務費	21,697
	祝儀	0	通信費	235,514
	懇親会費	0	印刷費	58,960
	一般会計から振替	-105,829		
	小計	316,171	小計	316,171
	合計	6,323,950	合計	6,323,950

同窓会規約

第1章 総則

第1条 本会は歌敷山中学校同窓会と称する。

第2条 本会は事務局を神戸市立歌敷山中学校（以下母校と称する）内に置く。

第2章 目的および事業

第3条 本会は会員相互の教養を高め、親睦をはかり、併せて母校の教育を振興することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため下記の事業を行う。
1. 会報等の発行、名簿の管理、諸会合の開催

2. 母校教育活動への協力
3. その他、本会の目的を達成するために必要な事項

第3章 会員

第5条 本会は次の会員をもって組織する。
正会員

- (1) 母校卒業者
- (2) 母校に在籍した者で、正会員の紹介で評議員会の承認を得た者

- 客員会員
 - (1) 母校職員および母校旧職員
 - (2) 母校PTA役員

第4章 役員

第6条 本会に次の役員を置く。その任

歌敷山中学校同窓会役員一覧

(令和四年二月三日現在)

本部役員

会長

山口 雅登(17回生)

☎(〇七八)三〇二一九〇九三

副会長

青木 宏真(22回生)

☎(〇九〇)一九〇三二七六四七

事務局長(理事)

山際 丈(17回生)

☎(〇七八)九九二一三九二四

名簿委員会委員長(理事)

東石 満夫(17回生)

☎(〇七八)九九二一五五六

名簿委員会副委員長(理事)

中原 憲造(20回生)

☎(〇九〇)三六五七一一二七

(兼)財務委員会委員長(理事)

青木 宏真(22回生)

財務委員会委員

砂川 廣行(15回生)

☎(〇七八)七九一八七五二

広報委員会委員長(理事)

藤本 純子(17回生)

☎(〇九〇)六九六一八七五九

広報委員会副委員長(理事)

阿部 洋子(17回生)

☎(〇九〇)三六二一四三〇八

総会写真担当

岡田 邦夫(17回生)

✳️行事サポート担当

真期 晴代(17回生)

高杉 優子(17回生)

酒井 丈子(26回生)

松下 聡子(29回生)

・監事

黒島 陸枝(7回生)

☎(〇七八)七八二一五四一

林 佐名哉(7回生)

☎(〇七八)七八五一三三三

酒井 康夫(11回生)

☎(〇七八)七〇九一三七七〇

・同窓会担当母校教頭

(事務局副委員長)

橋田 優子

☎(〇七八)七〇七八八六四(母校)

・相談役

母校校長

藤原 裕之

元会長

竹中 義明(1回生)

評議員

1回生 竹中 義明

2回生 岡本 正幸

3回生 永井 昭夫

4回生 中村 義正

5回生 塩崎 武

6回生 神部 元成

7回生 原田 良彦

8回生 角南富美子

9回生 林 佐名哉

10回生 曾谷 全博

11回生 大谷 靖彦

12回生 左 吉宏

13回生 泉 一誠

14回生 吉川 彰

15回生 藤井 英明

16回生 松下 孝輔

17回生 中村 和弘

18回生 富士 繁一

19回生 毛利 倫

20回生 隅田 雅裕

21回生 堀江 正明

22回生 高谷 道徳

23回生 砂川 廣行

24回生 井上 文字

25回生 東石 満夫

26回生 阿部 洋子

27回生 高杉 優子

28回生 山際 丈

木下 トミ

吉岡昭一郎

長野 齊

日置 直美

春田多美子

黒島 陸枝

北島 哲夫

吉田 基

立花 宏昭

酒井 康夫

北川 守

細川 光孝

山本 義宏

東 重夫

中村 光政

加藤美恵子

平沼加代子

藤本 純子

山口 雅登

真期 晴代



40 回生	39 回生	38 回生	37 回生	36 回生	35 回生	34 回生	33 回生	32 回生	31 回生	30 回生	29 回生	28 回生	27 回生	26 回生	25 回生	24 回生	23 回生	22 回生	21 回生	20 回生	19 回生	18 回生						
内田 雅之	神尾 雅之	横山 秀男	恩田 香代	藤浦健二 郎	上田 貴久	浜口まゆみ	木之下 悟	井本美千代	前田 徹	壺井 勇次	榎 克佳	牧原 典子	長谷川真理	佐伯 省一	中瀬 俊明	小川ふさ栄	林 隆嗣	阿部まどか	長谷 英彦	藤谷 積	青木 宏真	宮崎 郁子	改発 秀彦	中原 憲造	藤井三恵子	浜田 論	田中真理子	
柴田 大	山本 浩司	宮本 明子		津村 健一	山本 明弘	鎌田 耕吉	村田 康樹	高谷 理恵	松下 聡子	作 和憲		酒井 丈子		野下 明美	志水 邦子	白井ユリ子	國方美知子	清水 圭子	北森 哲治	喜多 昭二		稲葉 正昭	黒田 修一					
	60 回生	59 回生	58 回生	57 回生	56 回生	55 回生	54 回生	53 回生	52 回生	51 回生	50 回生	49 回生	48 回生	47 回生	46 回生	45 回生	44 回生	43 回生	42 回生	41 回生								
秋間 梓	猪塚 彩乃	渡辺 彬元	杉原 孟巳	久保 絢菜	原 俊典	青木 奈帆	葛尾 貴寛	北野 将希	高濱 瑞穂	外浦 瑞穂	南原 健司	小渡 良宣	西野 洋一	土江 美穂	今泉ひろみ	桂 翔生	西村 晃	正井 迅一	田中 元樹	大倉 尚志	田村 公伯	北田 真理	百瀬 道春	素野ゆう子	辻 琴代			
入江 健志	中尾 亮太	都 亜由美	中本 博子	原田 夏実	都 昌平	米井 美佳	村田英理子	十倉 容子	伊藤絵里香	八田原納苗	近藤 尚子	宮崎 秀一	大坪 茂幹	澤田 典子	有馬 龍平	素野貴巳子							都賀 明					
			73 回生	72 回生	71 回生	70 回生	69 回生	68 回生	67 回生	66 回生	65 回生	64 回生	63 回生	62 回生	61 回生													
			鈴木 悠斗	阪本 和奏	河野さくら	石原 茉歩	矢嶋しすら	秋山 楓	宇多村結子	小玉 拓未	武田 史明	市川 杏奈	内藤 優奈	日高 瑞希	田村 駿	小川 紘	大須賀詩織	鈴木 琢也	山田 咲良	野田 賛太	須藤 万結	清水 一哉	久保滉一郎	渡辺沙也子	首藤 美紀	上田 仁史	中川紗也香	皆木雄太郎
			家熊 大和	伊藤 初音	平井 優也	山中 颯大	武田 幸	谷田 恭梧	清藤 蒼和	江戸 遥香	有元こころ	岩木 文努		大西 夏貴	迫平 晴香	廣瀬 理帆	中田 陽久	遠藤加奈子	小林 遥香	富永 榛人	岡山 知輝	水谷 薫	渡辺 涼乃	菅 良平	上田 優馬	森 美波		



各委員会からのお知らせ

1 賛助金、支援金ご協力の御礼

(事務局、財務委員会)

本年度も総会開催に当たりご協力をお願いしましたところ、多数の会員の皆様から深く感謝と御礼を申し上げます。同窓会への皆様の熱い気持ちを大切にし、有効に活用させていただきたいと思えます。

2 来年度総会予定について(事務局)

来年度(二〇二三年度)総会は、舞子ピラにて二〇二三年十一月四日(土)を予定しています。学年記念同期会と併せて多数のご参加をお待ちしています。

(記念同期会)

- 十四回生 (六十周年)
- 二十四回生 (五十周年)
- 三十四回生 (四十周年)
- 四十四回生 (三十周年)

3 同期会への助成金について

同窓会活動を活性化することを目的として、各学年主催の「同期会」を開催する時には、一定の要件を満たすことを条件に同窓会本部より助成金が出ます。詳細については同窓会事務局へ連絡下さい。

TEL 〇九〇二二〇一〇五三二

トライやる・ウィークについて
(御協力お願い)

ご承知の通り母校でも毎年「トライやる・ウィーク」活動を実施しております。次代を担う若者に実社会への体験の場を通じ、地域社会とのかかわりを深めることで、健全な成長と働くことの意義を醸成する機会となっています。令和四年度は十一月七日(月)・十一日(金)に実施されました。こうした「体験の場」を同窓会としても支援していきたいと、提供していただける方、可能性のある方は気軽に後記の担当者へご連絡、お問い合わせください。

■今までご紹介いただいた体験の場

(幼稚園・保育園・小学校・商店・病院・動物病院・旅行社 他)

■連絡先

歌敷山中学校「トライやる・ウィーク」

推進委員会

担当 鳥津 志野 先生

TEL 〇七八七〇七一八八六四

FAX 〇七八七〇七一八八六五

フェイスブック

www.facebook.com/utasikiyama.dousoukai/

●賛助金・支援金のお願い●

振込先 郵便振替 1口2,000円以上
口座記号・番号 00970-6-187019
加入者名 歌敷山中学校同窓会
お振込いただいた方には会報をお届けします。

〒655-0037
垂水区歌敷山3-1-10
携帯 090-6962-8729
17回生 藤本 純子



歌敷山中学校同窓会会報

第二十九号(令和四年度)

令和五年三月吉日発行

〒六五五―〇〇三七

神戸市垂水区歌敷山二丁目四一

(神戸市立歌敷山中学校内)

歌敷山中学校同窓会

TEL(〇七八)七〇七一八八六四

編集 会報広報委員会
印刷 (有)新和プリント

